



リリクル通信

平成 29 年 8 月号外 和歌山市環境部



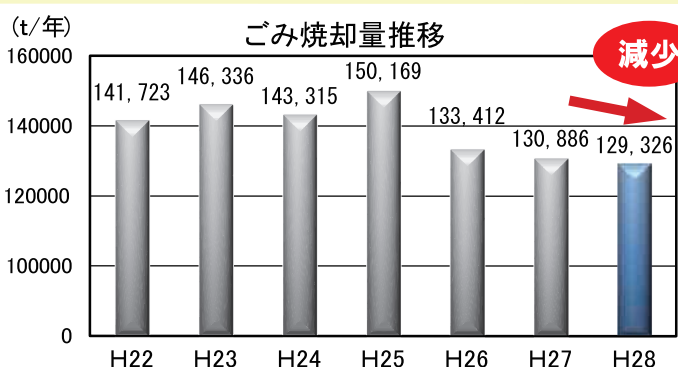
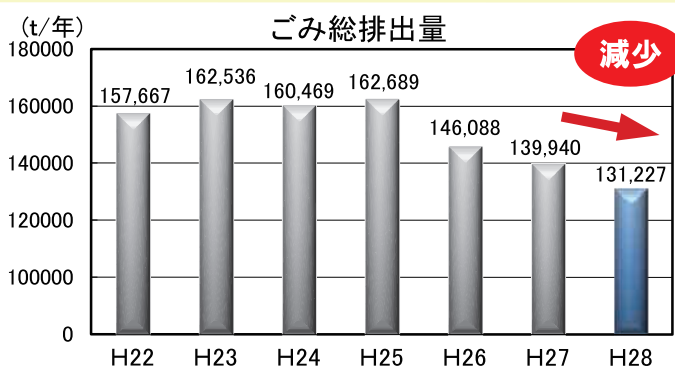
プラスチック製容器包装
の分別収集から

ごみ発電

へ移行の効果！！

ごみの現状

平成 28 年 4 月から「プラスチック製容器包装」を「一般ごみ」として回収していますが、和歌山市一般廃棄物処理基本計画に定める施策を推し進め、平成 28 年度のごみ総排出量、ごみ焼却量の実績は前年度と比較しても**減少しています！！**



前年度と比較した効果！！

効果 1 ごみ 1 トン当たりの発電量 UP↑

平成 27 年度 261 kWh/t
平成 28 年度 282 kWh/t

【前年度比較】

ごみ 1 トンあたり + 21 kWh/t
約 8 % 増加しています。



効果 2 売電収入 UP↑

平成 27 年度 166,521,140 円
平成 28 年度 199,259,796 円

【前年度比較】

売電収入は + 約 3,300 万円
約 20 % 増加しています。



効果 3 灯油*使用量 DOWN↓

平成 27 年度 482 ㍓/日
平成 28 年度 377 ㍓/日 *ごみ焼却時の補助燃料

【前年度比較】

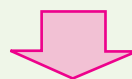
灯油使用量は -105 ㍓/日
約 20 % 減少しています。

効果 4 処理費用 DOWN↓

プラスチック製容器包装を処理する費用
① 異物除去等の中間選別処理費の削減
平成 27 年度：委託費 84,656,950 円
② 再資源化に要する処理費用の削減
平成 27 年度：リサイクル協会負担金 1,122,403 円

【前年度比較】

プラスチック製容器包装を処理する費用
約 8,500 万円が削減されました。



売電収入増加の効果と併せ、**1 億円以上の費用効果**がありました。

効果 5 収集効率 UP↑

週 1 回のプラ収集がなくなり、
効率が上がりました。

- 平成 28 年度から紙、布を別に回収し、布の **リユース** ができるようになりました！
- 事業者への排出指導も **より充実** することができました。

発電の効果!!



1年間で新たに約230万kWh発電されたよ。この量は、年間約700世帯分をまかなえる量だよ♪

市民の声

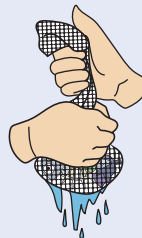
- ・当初は、分別方法の変更が一部行き渡っていないことなどがあり、周囲でも多少の混乱が見られました。しかし、1年が経ち、現在では、問題なく分別をしています。
- ・何がプラスチック製容器包装になるのか、非常にわかりにくかったですが、「一般ごみ」に統一され、わかりやすくなりました。
- ・水洗いなどの手間が省けるようになり助かります。
- ・週1回プラスチック製容器包装を捨てに行く手間がなくなりよかったです。



ごみ減量に向けた私たちの主なアクション!

★生ごみの削減を推進します!

水きり器(しぼり器)等を利用して、排水を汚さない程度に水気を絞るなど、ごみから余分な水分を取り除きましょう。



ごみ減量目標

平成32年度までに1人1日当たりのごみ排出量(資源を除く)を180g削減!!

★収集資源の分別を徹底しよう!

本市の収集資源である「かん、びん、ペットボトル、紙、布、小型家電等、白色トレイ」は、一般ごみや粗大ごみに混入して排出せず、徹底的に分別することで資源化に取り組みましょう。

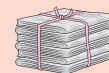
★資源集団回収に参加しよう!

市内の各地区で資源集団回収が実施されています。近くで行っている資源集団回収に参加したり、新たに団体で資源集団回収を実施し、資源回収の向上に努めましょう。



リリクルからのお願い

かん、びん、ペットボトル、紙、布、小型家電等の資源は、分別が必要です!!引き続き、それぞれの資源の日に出してください。白色トレイは、回収協力店にある「回収ボックス」を利用してください。



■発行/和歌山市一般廃棄物課

★和歌山市の「ごみ」に関する情報は、リリクルネットにも掲載しています★

リリクルネット：<http://www.rerecle.net/>

和歌山市 HP：<http://www.city.wakayama.wakayama.jp>

リリクルネット



【お問合せ】電話 073-435-1352 FAX 073-435-1270 E-mail ippanhaiki@city.wakayama.lg.jp